



種比古作

芳伊画

菊壽堂發販

1178
94

四



譚 繡 羅 紫

四十七編上

1178
93

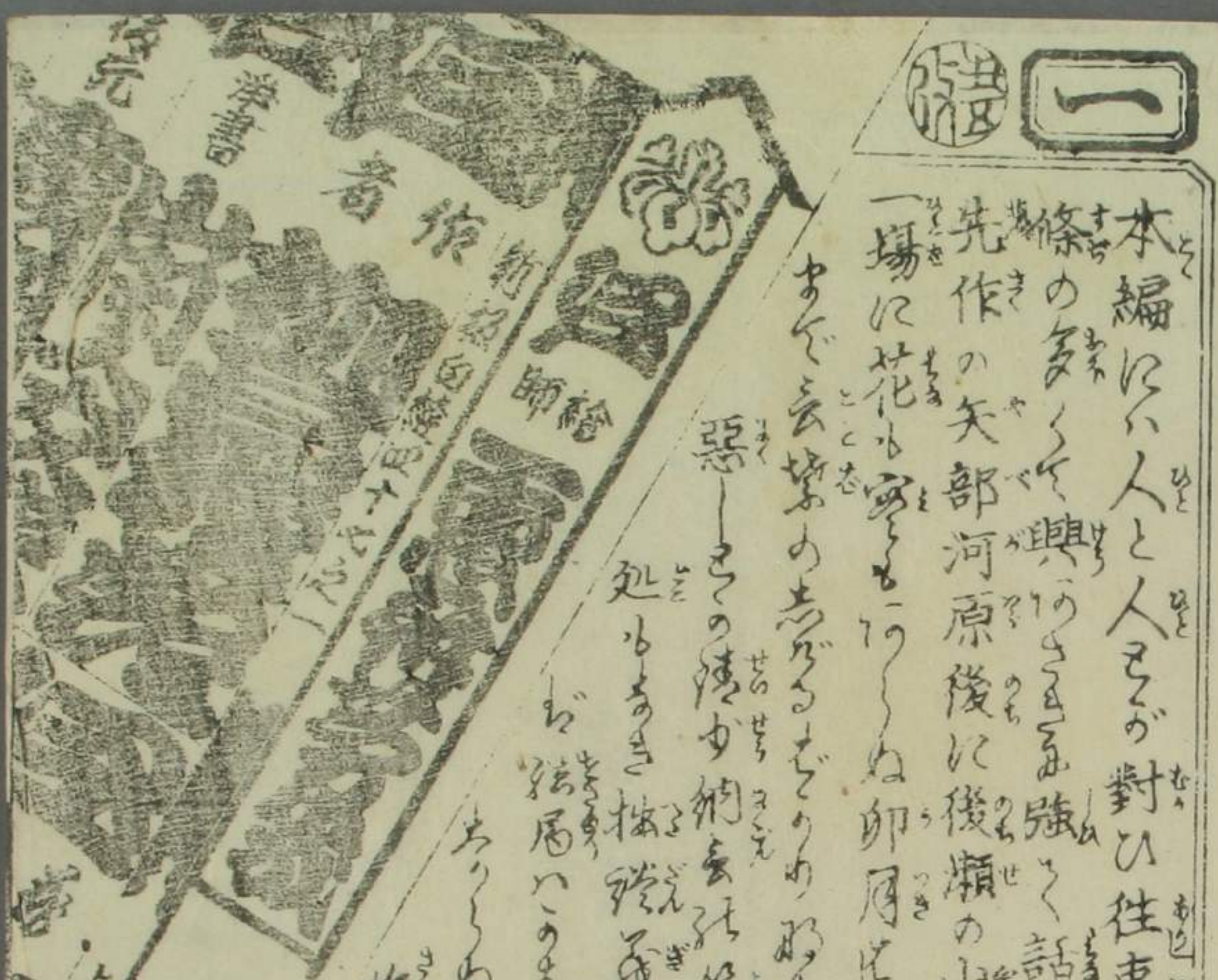


紫 羅 繡 譚



四十七編上

へ 13
1178
93



一

本編のい人と人との對ひ往來を物とする又後來を量るやうなる
 條の多くに興へる強き話と際々しくせんまで添ふ蛇足も有
 先作の矢部河原後に後瀬の山家など真竈齋が切腹姑のやま
 一場に花も家も一か即月はじめの隻木立の紫の光様もく臆
 ちぐも去場の志あるむりのありおはる柳の絲は端焼もくも廣
 悪くこの流少納言は筆もわりのとる色に弥長編とて先
 処もまき挿げ義結頼の根々つりのやまか地鉄を以
 お結届のやまに
 ちりぬ是か船一由舟の慈懐は実家
 格も多門之助も美之助も利者
 一皆出勅の形は法命の
 乙丑冬十月

1178
93
特

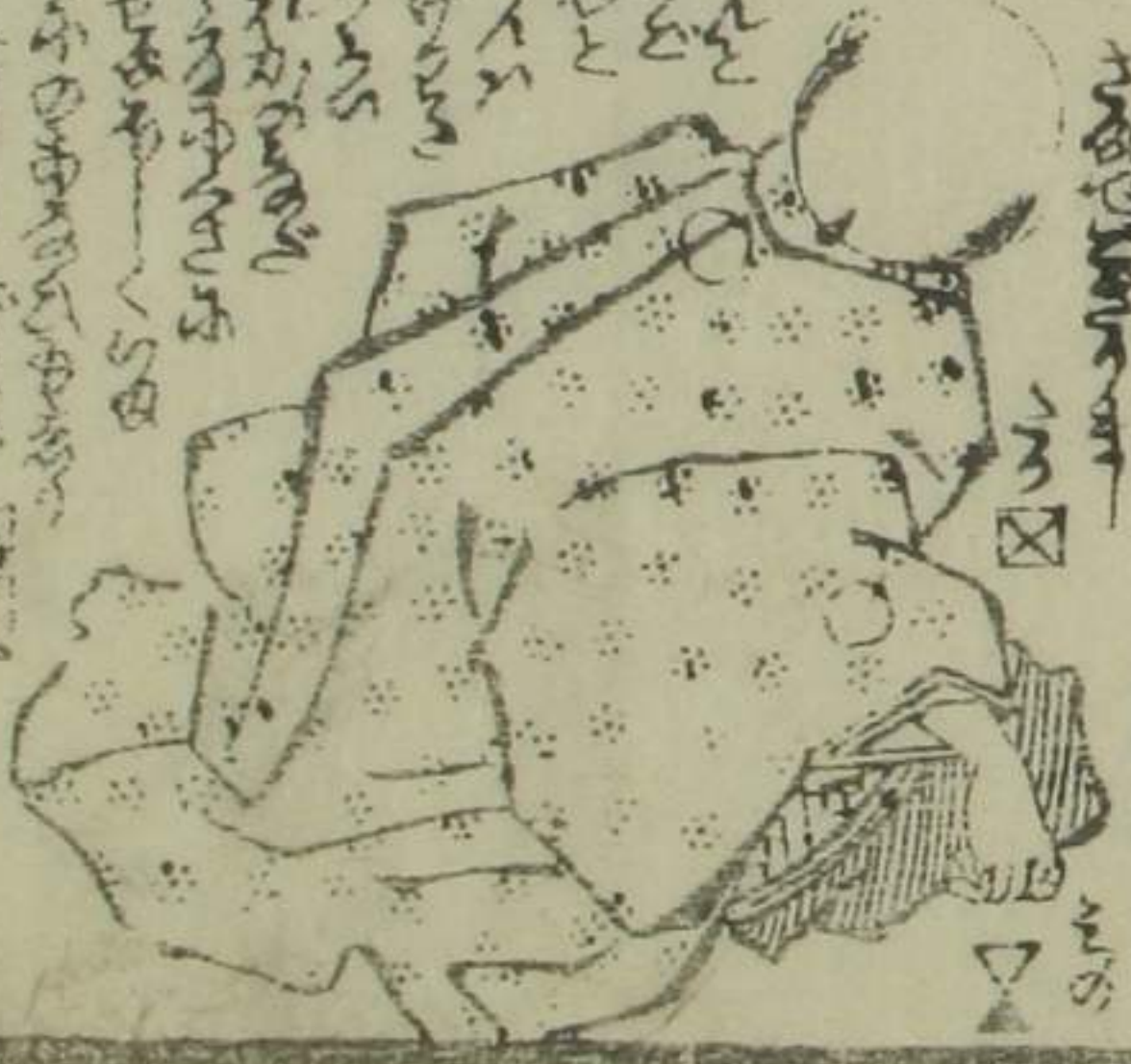
画 工	廣 文庫	作者
西遊記	山家集	柳巷集





後入名

あかきつゆのよる魚のさかきつゆの
ありあけのさかきつゆのさかきつゆの
上京のさかきつゆのさかきつゆの
さかきつゆのさかきつゆのさかきつゆの

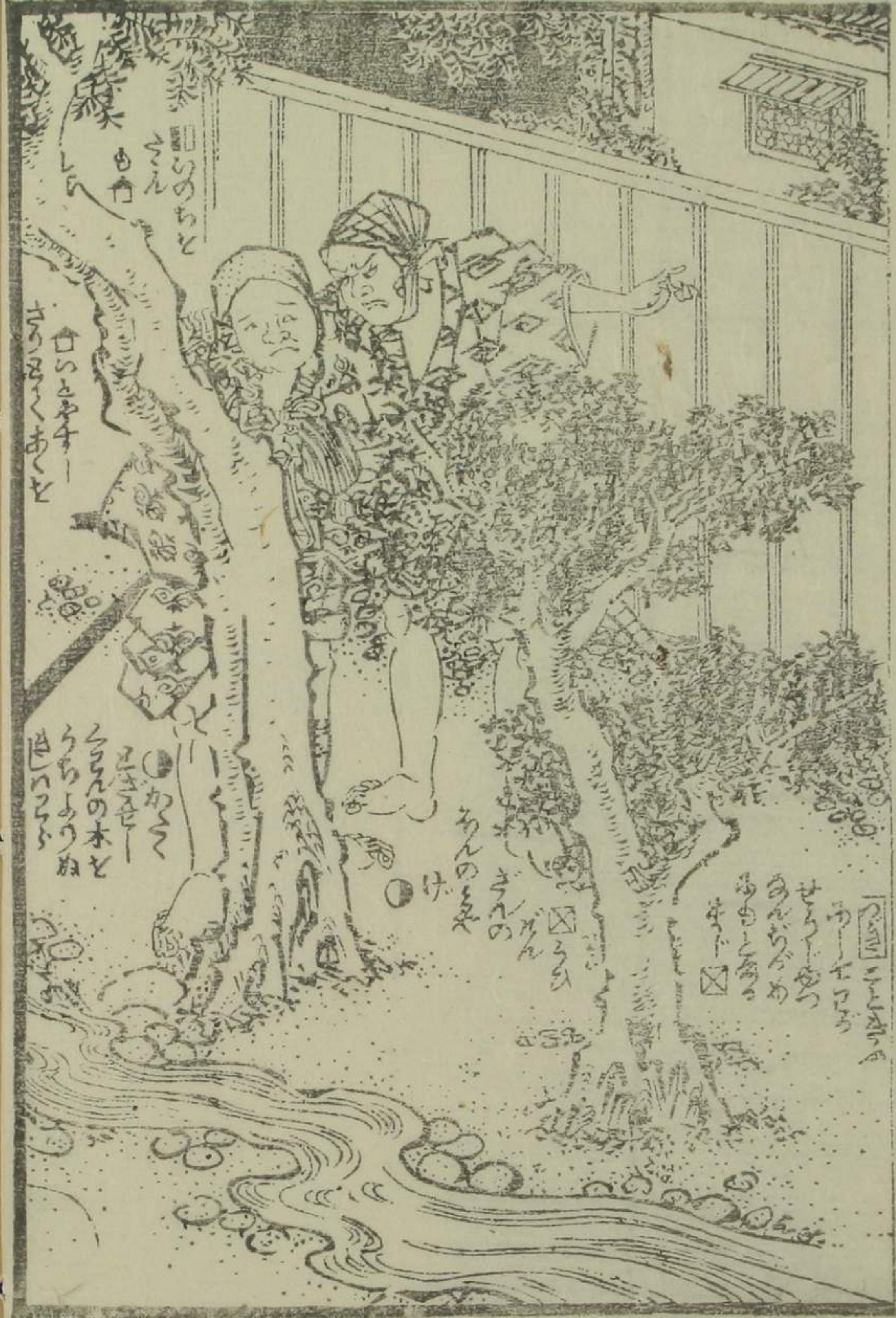
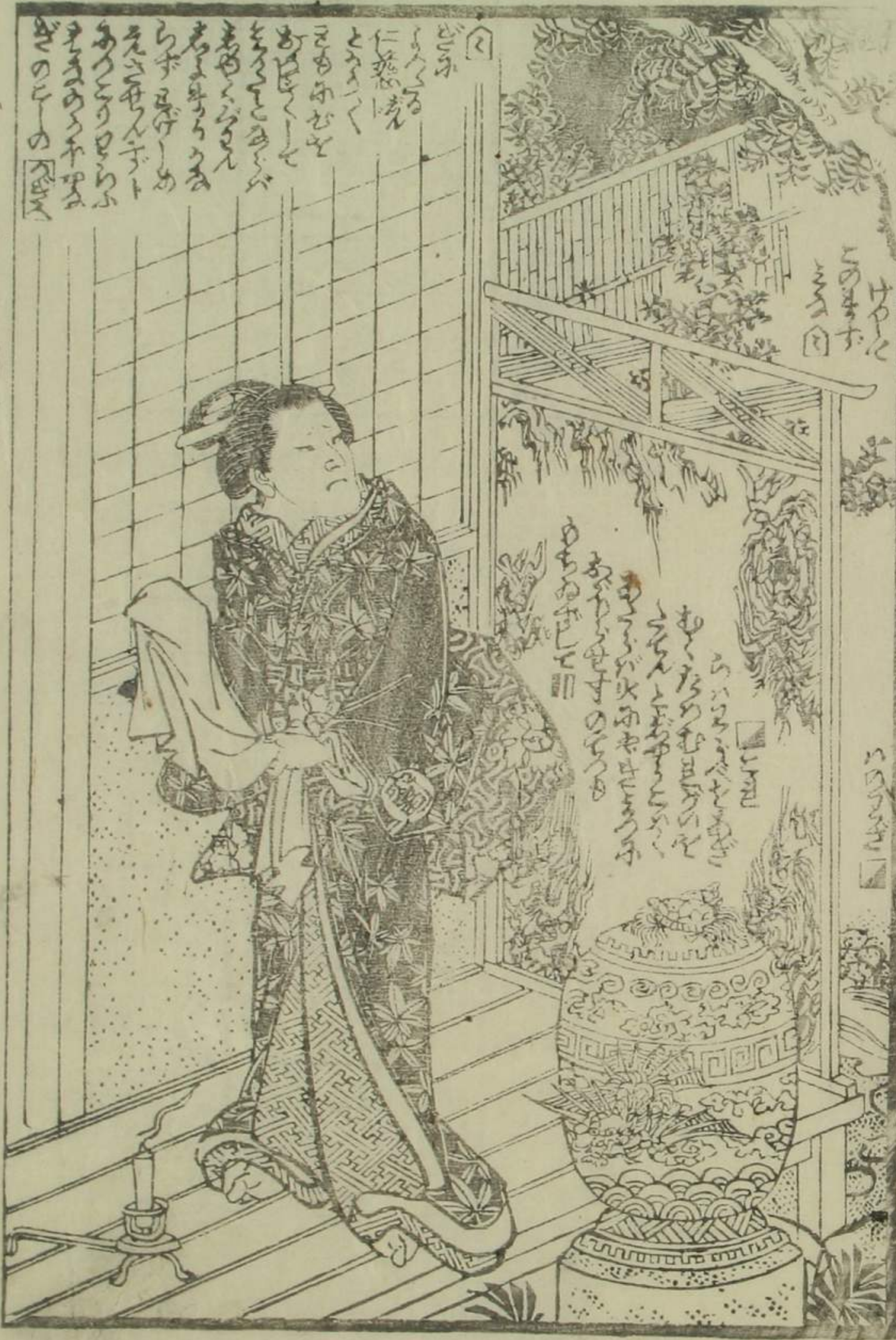


あかきつゆのよる魚のさかきつゆの
ありあけのさかきつゆのさかきつゆの
上京のさかきつゆのさかきつゆの
さかきつゆのさかきつゆのさかきつゆの



天
秋
の
さ
か
き
つ
ゆ

あかきつゆのよる魚のさかきつゆの
ありあけのさかきつゆのさかきつゆの
上京のさかきつゆのさかきつゆの
さかきつゆのさかきつゆのさかきつゆの





種比古作

芳伊画

菊壽堂發販



1178
94



へ13 特
1178
94



其末
文彦





ついでに... 上
 さてこの... 上
 さてこの... 上



ついでに... 上
 さてこの... 上
 さてこの... 上

此の物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、



この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、

この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、

この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、

この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、



この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、

この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、

この物語は、昔の物語に、
 昔の物語に、昔の物語に、





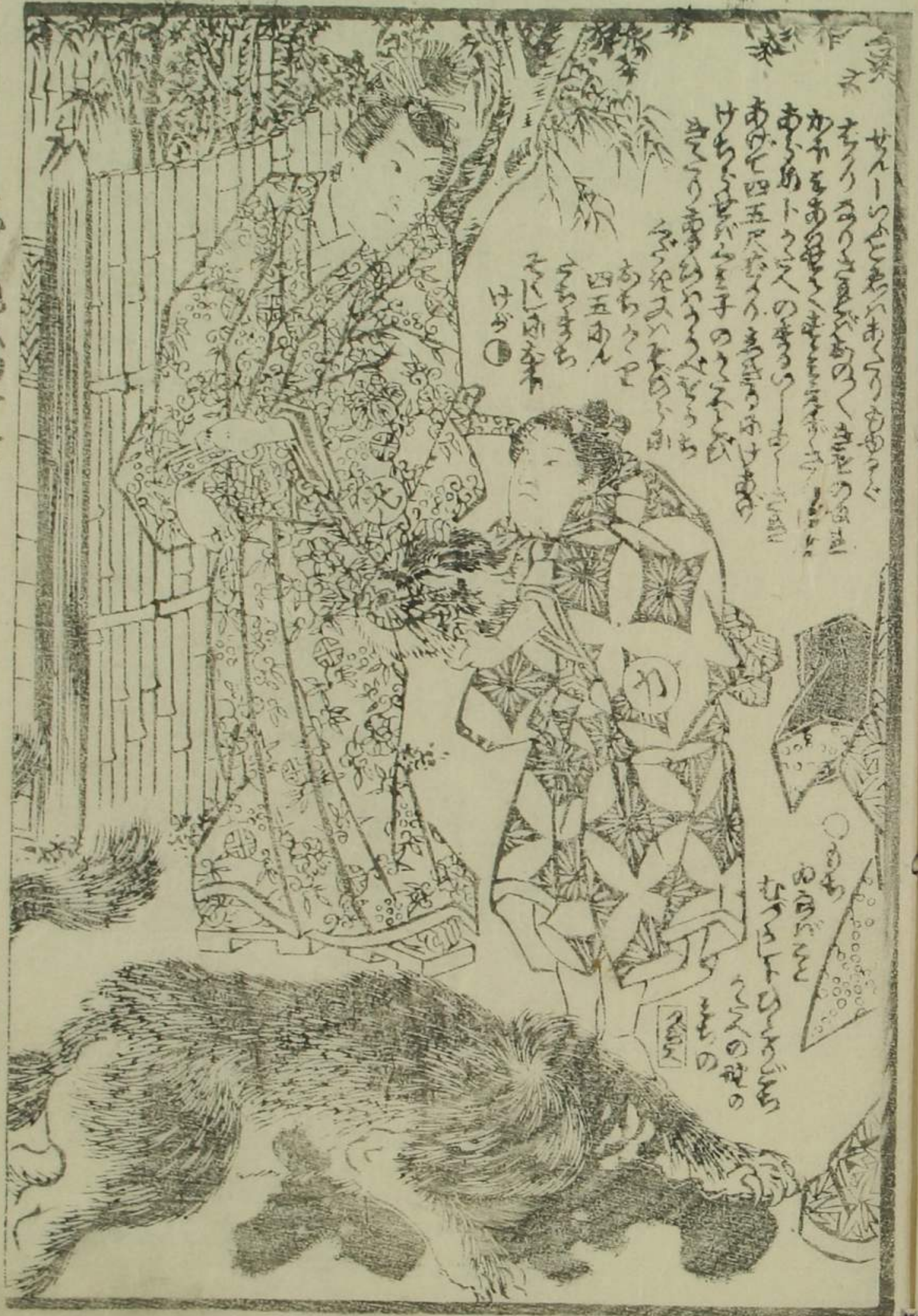
此の書は...
 江戸の...
 徳川...

此捕手の...
 つた...
 人...
 次編...

江戸...
 徳川...
 徳川...

徳川...
 徳川...
 徳川...

徳川...
 徳川...
 徳川...



巻の四十一

七

